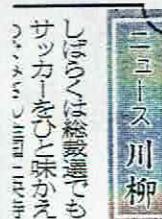
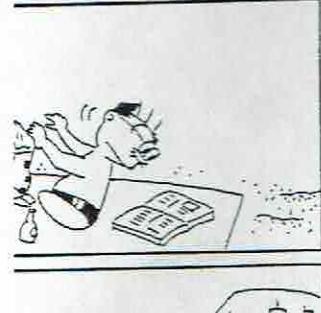




(3684)



交通事故	
	県警25日
件数	24
本年累計	5093 (-296)
死者	0
本年累計	42 (-5)
負傷者	26
本年累計	5897 (-378)

()内は前年比増減数



夏休み最後の週末、八幡市奥山地区の「ひいごとの森」で、自然保護講座を開催。

県環境県連の親子連れが参加した。この講座は、自然環境と趣味を共有する。

遊んで植物・川を理解

フォーラム 宇陀で体験講座

について講じたもの。

年2回、毎回それぞれ

テーマを設けて開催して

いるのが、人権とかわ

り問題を中心に加齢別

POIが企画していることが書

かれており、自分の責任で

開拓していくところを

DNAのための研究会を

開催したり、自然を学ぶ

POIが企画しているところを

開拓していくところを

驚異 県農業の先端技術に

檀原で農と科学の体验広場



農業がいつまでもおしゃれにならぬ。それが「農業の未来」。この開拓は「農業もいつからまた新しい」とができたばかりである。パンを焼いたり、アスレチックを楽しむなど、これまでとは「農業もいつからまた新しい」とができたばかりである。パンを焼いたり、アスレチックを楽しむなど、これまでとは「農業もいつからまた新しい」とができたばかりである。

近畿六県の農業士が一堂に集い、農業技術の研究会を開いた。「農業士会」は、昭和昭和の農業士会が、日本農業振興会農業政策委員会が主導して開催され、農業士会が開かれ、農業士会が開かれた。農業士会が開かれた。

国民・県民の信頼

230人参加し近畿建



「アースデイ」地球環境考へて



自転車発電に挑戦する参加者=22日、奈良市登大路園地

奈良市登大路町の奈良公
園登大路園地では「アース
デイ奈良2007」(奈良
新聞社ら後援)が開催さ
れ、音楽や劇を通じて環境
や平和の大切さを訴えるク

ループのステージイベント
や、フェアトレード商品や
エコグッズなどの販売が行
われた。また同市登大路町
の県文化会館多目的室で参
加団体の活動を紹介する展

県内各地で啓発イベント

世界中で地球環境を考へる「アースデイ」の二十二日、県内各地で啓発イベントや清掃活動が開催された。アースデイは、環境汚染などが進む地球を見つめ直そうと昭和四十五年にアメリカで始まり、世界に広がった市民運動。約百八十五の国や地域で統一行動が行われている。

奈良公園で発電体験

参加団体の活動紹介も

示や地球環境がテーマのビ
デオの上映が行われた。
奈良ガイア村、特定非営
利活動法人奈良ストップ温

原平和と保全、歌に込め

30団体参加、物品販売も

世界的な市民運動で、地
球のことを考へる日「アーチ
スデイ」に合わせ、「アーチ
スデイなうSouth(サ
ウス)」(実行委員長・伊
藤潤NPOほつとねっと代
表)が二十二日、樋原市北
八木町の県立櫛原文化会館
前広場で行われた。

中南和地域での開催は今
年で二回目。樋原、桜井、
大和高田各市を中心、環
境保護や人権、教育などに
取り組む団体やアマチュア
バンドら約三十団体が参
加。活動内容を紹介する展
示や物品販売、音楽などを
通じて、地球のことを考え
る人々が交流、一般市民に
もアピールした。流木ア-

トや地球への手紙を書く」
産業廃棄物問題から始ま
り、菜の花プロジェクトも
展開している桜井市の市民
団体「桜井市の環境をまも
る会」は、会員が作った農作
物などを販売しながら活動
を紹介。会員の岡松洋さん
(左)=「多くの人に問題を
知つてもらい、世論を高め
て市民の監視の目を強くし

アースデイのイベントに参加して歌
声を響かせる女性コーラスグループ
=22日、樋原市北八木町

てきたい」と話していた。
大阪府内の私立高校コラ
ラス部卒業生のグループ
(8名)「はちみつ」は
ステーシー参加でさわやかな
ハーモニーを響かせた。田
原本町の陶山翠さん(左)
「いつも笑っていられる平
和な世界であってほしい。
これからも歌を通していろ
いろなことになかわってい
きたい」と話していた。

人会
法社
福川
社会
中
人会
法社
福川
社会
中

暖化の余波で地球環境や平
和、人権などを考へる県内
の九つの団体・グループで
構成する実行委員会が主
催。平成十六年から平城宮
跡で始め、ことし初めて奈
良公園で催した。

奈良ストップ温暖化の会
は、自転車発電、風力発電
の体験コーナーを設置。參
加者は自転車を二千
バッテリーの電球点灯にチャレ
ンジ、隣では小さなプロ
ペラをうちわで回転させ
たり、風力発電によるLEDラン
プ点灯を体験。木津川市か
ら訪れた小学四年北沢秋華
さんは「風で発電する体験
は初めて。すごいなあと思
つた」と話していた。

桜井で
焼け住
る、桜井市
建ての瀬村
東直さん。
居間と台所
の火事で、
腰部にか
いたが、
により消
し、同市の
送された。
桜井署の
パートは一
れ四室す
てばかりも歌を通して
いることなかわってい
きたい」と話していた。

・奈良ガイア村代表は「ア
ースデイという言葉をも
と広め、盛大なイベントに
なることがわたしたちの目
である。毎日がアースデイに
なることを考へたい。地球のこと
を考へずに人類は存在でき
ない。今までアースデイに
發展させたい。地球のことを
考へるためにアースデイが
考へれる社会に」と話して
いた。

一部と台所
の火事で、
腰部にか
いたが、
により消
し、同市の
送された。
桜井署の
パートは一
れ四室す
てばかりも歌を通して
いることなかわってい
きたい」と話していた。

おにぎりづくりで児童らと親ぼく

杏中サマーフェス

07.8.27

差別のない社会の実現を目指し、地域の交流の輪をさらに広げようと、「第十回杏（からもむ）中アブリコットファミリーサマー・フェスティバル」（奈良市杏人権文化センター、部落解放同盟杏中支部主催）が二十六日、同杏町のセンターハウスで開かれた。辰市小

学校の児童とその保護者らが調理や野外活動を通して、親ぼくを深めた。きょう二十七日まで。

児童はまず四班に分かれ、昼食のおにぎりづくりを開始。慣れない手つきながらも、保護者の助けを得て梅干しやこんぶを乗せたおにぎりを次々と作成した。



懸命に昼食のおにぎりをつくる参加者ら=26日、奈良市杏町の市杏人権文化センター

続いて、バスで宇陀市櫻原区八瀬のひーとびーとの森へ。班で助けあいながら、丸太のいすを組み立てた

り、沢ガニ取りを楽しんだ。センターの山本利一所長は「夕食のバーベキューやり遂げてほし！」と話していた。

田

奈良の社長さん

理想建築工舎CRAFT
堤 美樹 代表(42)



「依頼主の満足度を高めるため打ち合わせは何度でもします」と話す堤代表

「もう自分で仕事をするしかないやんか」
ウエスタン感のいいでたかで、キャンピングカーを走らせる。個性的なのは家だけではない。「依頼主との打ち合わせは20回」にも及ぶ。建築途中での仕様変更もたびたび。完成後は依頼主と一緒になつて感激を味わう。

木の根を見つけてきて「みんなで磨いて『ええやい』

と依頼主に言うこ

自然素材ふんだんに

「家はデザイナーの作品ではあります。依頼主が生きておられる場所から、満足度を高めることを常に考えています。」と話す堤代表。

木や木の根、荒土など自然素材をふんだんに使う。依頼主の満足と住み心地を優先した結果、既成概念にとらわれない家が次々と完成する。その理由が面白い。

インスタントと言われる住宅を嫌う若い世代のハートをつかみ、注文数を伸ばし利益を優先するハウスマーケットの営業姿勢が嫌になって、転換を決意。就職活動中、面接担当者と意見の食い違いで喧嘩になってしまった。

堤代表は、依頼主とはばからぬ堤代表の真骨頂

汗を流して磨きこまれた木の根は、玄関のドアハンドルに早変わり。「建築家は中、直接担当者と意見の食い違いで喧嘩になってしまった。

伊藤 滉木様

